

1. 五重相伝会とは

浄土宗寺院において最も大切であり、また最大の行事であります五重相伝は、永遠に生きゆく真実の道を明らかにしてお示し頂いた法然上人の御教えを五つに重ね合わせて、人として本当の自己に目覚め、生きる上での正しい生活の規範を育み、念仏信仰に生命を与え、実践を身に付けていただくためのものです。

授者(参加者)は5日間にわたってお寺に通っていただき、浄土宗の開祖法然上人をはじめ、二祖聖光上人、三祖良忠上人等の書物をテキストにして、初重・二重・三重・四重・第五重と、五つの順序にしたがって浄土宗の教えの奥義をわかりやすく、五段階にわけてお伝えすることを五重相伝といいます。

法然上人がなぜお念仏を勧められたかが理解でき、信仰が深まり、御法語にある「生けらば念仏の功つもり、死なば浄土にまいりなん。とてもかくてもこの身には、思いわずらうことぞなしと思ひぬれば、死生ともにわずらいなし」という境地になって、この世を明るく・正しく・仲よく暮らすことができるようになることを目的としています。

そこで五重相伝の授者には阿弥陀様からの教えを受け継いだ証明(血脈)が授与されます。即ち、五重相伝会修了者には「誉号戒名」が授与されるのです。檀信徒の皆様は一度は是非とも受けていただきたいものです。



『阿弥陀二十五菩薩来迎図』
(鎌倉時代、知恩院)

高くそびえ立つ山岳を越え、観音菩薩勢至菩薩を先頭に阿弥陀如来と諸仏が念仏行者のいる館に来迎する様が描かれています。

ご挨拶

聖号十念

春寒の候 貴家に於かれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は寺院運営に格別の御芳情を賜り厚くお礼申し上げます。

陳者 この度、平成30年11月21日より25日までの5日間にわたり、五重相伝会を開筵させていただくこととなりました。

前は平成7年11月に360名の方々にお受けいただき、成功裡に終えることが出来ました。今回は実に23年ぶりに開筵させていただくこととなります。ここにある本に五重相伝をお受けになった方の感想が載っておりましてので紹介させていただきます。

「五重相伝とはどのような法要なのか具体的には何もわかっていませんでした。ただ、浄土宗では生前に五重相伝を受けると、戒名に誉号をつけていただけるというぐらいしか知りませんでした。五日間、五重相伝の儀を受けさせていただき、ただただ、その荘厳な儀式に感動し、心が洗われる思いでございました。ご一緒に五重を受けた方々とも檀家としての一体感が湧いてきて、毎朝お寺へ行くのが不思議と楽しかったです。」
(平成21年度浄土宗総合学術大会研究紀要 佛教論叢より抜粋)

当山におきましても、五重の勸誡を聞き、回向をしていただくことを通して、受者の方々にこのような感想を持っていただける、感動的で、感性に訴えかけるような五重相伝会を受者の皆様方と一体となって創り上げていきたいと考えております。

壇信徒の皆様方は勿論のこと、多くの方々に御参加いただき、結縁を結んでいただければと思います。

本堂の新築工事もいよいよ本格的に始まりました。完成成った真新しい本堂での開筵となります。この勝縁にお一人でも多くの皆様に御参加いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

合 掌

平成27年2月吉日

西念寺第31世 忍誉 昌 信
西念寺五重委員会一同

五重相伝会要項

日 時：平成30年11月21日（水）～11月25日（日）

会 場：西念寺 本堂・客殿

伝灯師：当山住職 北 川 昌 信

勸誡師：日下部 謙 旨 上人（兵庫教区 慶光寺住職）

教授師：北 村 隆 彦 上人（兵庫教区 法輪寺住職）

回向師：大 島 仁 志 上人（兵庫教区 光台寺住職）

冥加料：参加費 100,000円

[五重の巻物・袈裟・数珠・経本・祝膳・記念写真等含む]
五重相伝会成満の日（25日）には巻物を授与いたします。
伝灯師が授けた「譽号 よごう」が記されています。

定 員：200名

お申込み方法

申込書提出：申込書に冥加料（参加費）100,000円を添えて西念寺に御持参いただくか、評議員様にお申込み下さい。

所持品：筆記用具、ノート

服 装：動きやすいもので和服・洋服どちらでもよい。

その他：ほとんどの時間帯が椅子席での受講になります。

特別塔婆回向

特別塔婆回向申込書に回向料を添えてお申込み下さい。

五重相伝会に参加されない方も、特別塔婆回向のお申し込は可能です。

特別塔婆回向料 1霊 10,000円

回向師さんの発声により、ご先祖やご縁のありました先亡霊位の追善供養を大勢の御寺院や受者全員が、念仏・礼拝で回向します。

故人に対する最も尊いご供養になります。

五重相伝のQ&A

五重相伝会とは？

「五重相伝会 ごじゅうそうでんえ」は、浄土宗の行事・儀式のなかでも、最も重要とされる法要です。この法要では浄土宗の念仏をわかりやすく、詳しく、五段階に分けて奥義（お念仏の教え）をお伝え（相伝）いたします。浄土宗の壇信徒の皆様に、菩提寺である浄心寺でご修行いただき、一生に一度は受けていただきたい行といえるでしょう。

西念寺では五重相伝会が20年ぶりに行われます。

人生のなかで、五重相伝会という浄土宗の最も重要な法要に参加できることは、まさにこの上ないご縁の賜物といえるでしょう。

現在建築中の真新しい本堂での開筵となります。この機会に、人生一度のまたとない機会と受けとめて、ご年配の方はもちろんのこと、青壮年の皆様も、ご夫婦、お知り合い、お揃いでご参加を心よりお待ち申し上げます。

五重相伝会では、どんなことをするのですか？

五重相伝会では、4日間にわたって朝集合し、お説教「勸誠 かんかい」を聴聞し、お念仏や礼拝（らいはい）、勤行（おつとめ）を行います。昼食をはさんで午後4時ころまで、参加者の皆さまがご一緒になって、浄土宗の教えを実践によって体得していただくことができます。参加者には、後日、日程表を配布いたします。

五重相伝会の修行は、つらくありませんか？

体力的、肉体的、精神的につらかったり、無理をしいるものではありません。ご年配の方にも、ご参加いただけるように配慮されていますのでご安心下さい。全員が椅子席での修行となり、適時に休息があります。

服装は和服、洋服どちらでもよく、動きやすいものをお召しください。

大勢のお坊さんが、サポーターとして皆様のお手伝いをいたします。わからないことや疑問に思ったことは、お気軽にお声をかけてください。

五重相伝会で得ることができるものって？

せっかく浄土宗のお寺の檀信徒としてご縁をいただきながら

「なぜお念仏なのだろう？」

「私が生きることに、仏教はどう役に立つのだろう？」

「人は死ねば、誰でも仏になれるのか？この私はどうだろうか？」

「死んでしまった大切な人に、どのように供養したらいいのだろうか？」

「なぜ病気や老い、死を迎えるのだろう？」

こういった大切な問題の正しい答えを学ぶこともなく、過ごしてきませんでしたか？

五重相伝を受けることにより、浄土宗では、なぜお念仏を称えるのか、しっかり理解でき、仏教とのご縁をさらに深めることができます。

そして浄土宗の檀信徒として、これからの人生を、仏さまのともしびを胸にいただき生きることができます。

また、五重相伝会をお受けいただき、成満された皆様さまには、お釈迦さまからの教えを受け継いだ証明として、生前法名「譽号 よごう」が授与されます。この「譽号」は、浄土宗においては、法名のなかでも最も大切にされるお名前です。「譽」という称号は、お念仏を称えるものを誉めたたえるということの意味しますので、本来は、五重相伝をお受けになった方だけにお授けするのが本義とされています。

五重相伝会で行われる、特別塔婆回向とは？

五重相伝会では、期間中毎日「回向」の時間が用意され、大切な修行の一つとして、専門の回向師と呼ばれるお坊さんの発声により、ご先祖やご縁のあった先亡霊位の追善供養を大勢のお坊さんや参加者全員でお参り申し上げます。これは、先だっただご先祖に対する最高のご供養になります。大切な方々の法名をお書きになって、お申し込みください。

その他、疑問に思われることがありましたら、どんなことでもお寺にご相談ください。皆様方の御参加を心よりお待ちしております。

合 掌